

令和3年度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇ (面積:約9.6ha)



◇富山新港臨海野鳥園◇(面積:約4.6ha)



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇(面積:約16.5ha)



令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた帆船海王丸の一般公開を8月から約1か月間休止（8/18～9/26）するとともに、年10回の実施を予定していた総帆展帆もすべて中止とした。また、海洋教室の実施が8団体となるなど、昨年度に続き事業活動に大きな影響を受けた。

こうした中、春（5月）と夏（7月）にファミリー向けイベントを実施し、賑わいづくりの創出に取り組んだ。また、「恋人の聖地」として、12月には婚活イベントを実施するとともに、2月には、「海王丸バレンタイン恋人フェスティバル」を開催するなど、男女の出会いの場の提供に取り組んだ。

このほか、11月には、1年ぶりに富山マラソンが開催され、海王丸も縦帆展帆や満船飾で花を添えた。

海王丸パークへの入込数は、前年度に続きコロナ禍の影響を受け、57万7千人となった。

当財団としては、令和4年度も、万全の感染防止対策を講じながら、富山県、射水市及び関係団体と連携して、帆船海王丸の保存・公開や各種イベントの開催等を通じ、雄大な景観を誇る海王丸パークや日本海側有数の規模を誇る新湊マリーナの魅力の向上と発信に努めていく。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.6ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修
- ・「展望広場」の供用（雷等の注意報発令時は閉鎖。HP、園内案内表示3箇所周知）



2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① 世界の帆船模型展
- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟
- ③ きららか射水の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ わたしたちと海 など

- (2) 施設の利用促進
研修室の会議等への利用、談話室の賃貸
- (3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

- (1) 法定検査等
 - ① 船舶安全法にかかる検査 第1種中間検査 令和3年7月7日
 - ② 消防設備保守点検 令和3年9月22日、令和4年3月9日
- (2) 日常の保守点検整備
 - ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
 - ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
 - ③ 船体各部の発錆部の補修等
- (3) 船体整備等
 - ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
 - ② セイルの取付け及び取外し
 - ③ 帆装艀装整備
 - ④ 電灯改修
- (4) 災害防止
館内防災センターにおける24時間集中監視の実施

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

有料乗船者のうち、希望者に対してはロケットカードの配布を開始した。

(1) 一般公開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで一般公開を休止した。また、大雪及び荒天のため、令和4年1月20日、2月5日～6日、2月26日～27日及び3月26日は、公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間（11月13日～12月3日、2月15日～3月11日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月21日、9月1日～10月31日 3月12日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月22日～8月31日	9時30分～18時
ウ	11月1日～2月14日	9時30分～16時30分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のペア

③ 乗船者数 31,940人 一般公開以来の延乗船者数 2,165,783人

年度	乗船者数
平成29年度	60,054人
平成30年度	60,958人
令和元年度	69,050人
令和2年度	27,996人
令和3年度	31,940人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆 10回予定のところ、すべて中止

なお、総帆展帆予定日には、職員により縦帆10枚前後の展帆を6回行った。

② ボランティアの育成

ア ボランティア登録者数（令和4年3月末現在）

区 分	人 数		
登録者数	男 448人	女 280人	計 728人

- ・女子ハンドボールチーム「アランマーレ」の選手の皆さんが、11月13日に展帆ボランティアの養成訓練に参加。



(アランマーレの選手の皆さん)

イ 「ボランティアの集い」

令和4年3月26日

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆4枚を展帆。6回実施

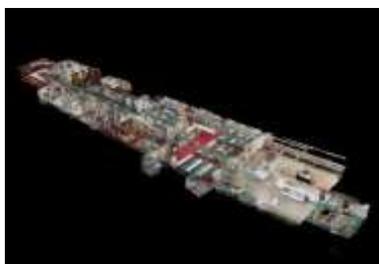
4月9日、5月4日、6月27日、7月23日、10月10日、10月24日

満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。3回実施

5月5日、7月22日、11月7日

(4) ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等

- ・帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載。
- ・平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開。
- ・令和2年4月から、スマートフォン、タブレット等に対応しリニューアルした。



(海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像)



(スマートフォン、タブレット等に対応)

(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション：毎日（船体整備期間を除く）、日没時から22時まで実施

ライトアップ：毎日、日没時から22時まで実施

イルミネーションについては、県から発出された新型コロナウイルスステージ3の警報を周知するためライトアップの色を赤色に変更したほか、国際小児がんデー、国際女性デーに合わせてライトアップの色の変更を行った。



(赤色にライトアップされた海王丸)

5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

① 海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
日帰りコース	6、7、8、 10、11月	8団体	334人 (うち引率35人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 マスト登り



(手旗信号訓練)



(マスト登り)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール 2021」の実施

小学生（射水市内及び県東部の小学生）を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 310 作品
- ・入賞作品展示 9月27日～10月24日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月24日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

6 海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

- ・ 2年 12月14日 12人、引率2人
- ・ 3年 12月16日 15人、引率2人

7 イベントの実施（財団主催行事）

(1) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式（4月9日）

- ・ 鯉のぼりの掲揚（4月9日～5月5日）
- ・ 花の迷路の設置（4月9日～11月30日）

(2) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月2日～5日）

- ・ 海王丸パーク内にミニ遊園地、SDGs「〇×クイズ」、児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、フリーマーケット等を実施。来場者約1.8万人。



（親子工作教室・県児童クラブ連合会協力）

(3) 海王丸パークフェスティバル（7月22日～23日）

- ・ 海の日を記念して、親子展帆体験や海王丸船長との記念撮影、新湊観光船の無料体験乗船等を実施。来場者約8千人。



(4) パワーバレンタインウィーク in 海王丸パーク（2月8日～14日）

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・ 満船飾（2月14日）
- ・ 「メッセージ入り記念乗船券」発行
- ・ 進水記念日は乗船料無料、期間中のペアの乗船料半額
- ・ バレンタインスイーツ提供（2月12日・13日）
- ・ 特製チョコレートプレゼント（2月14日）



(5) 2022年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したA1判カレンダーを1,200部作成し、県内小中学校・旅行者等に配布した。

◎海王丸パークの年間入込数 577,000人

年 度	年間入込数
平成29年度	987,300人
平成30年度	1,178,900人
令和元年度	1,201,500人
令和2年度	563,500人
令和3年度	577,000人

II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。

また、来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

ホームページ、フェイスブック等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもPRした。

2 探鳥会（5回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年5回実施。うち1回は、野鳥に関する講演会を併せて開催

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	4月11日
2	11月14日
3	12月19日
4	2月20日
5	3月20日



(2) 講演会

3月20日 探鳥会と同日に実施

講師：村井 仁志氏 富山市ファミリーパーク園長

演題「希少鳥類の保全とバードウォッチングの勧め」



(3) 年間入込数 2,610人

(4) 野鳥観察指導員登録者数 30人

Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・50t テルハ式クレーン保守点検（1回/年）
- ・20t 自走式クレーン保守点検（1回/年）
- ・ジブクレーン保守点検（日常点検）
- ・浮棧橋保守点検（1回/年）
- ・消防設備保守点検（2回/年）
- ・自家用電気工作物保安管理（1回/月等）
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備（繁忙期：2回/日、閑散期：1回/日）
- ・監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・構内見回り（緑地管理・保管艇管理）、機器の安全点検（1回以上/日）

2 マリーナ保管・利用状況（令和4年3月末現在 登録数347艇）

(1) 登録数（艇）

区分	陸置艇	競技用小型ヨット	棧橋係留艇	合計
3月末現在（A）	108艇	86艇	153艇	347艇
保管可能数（B）	157艇	100艇	185艇	442艇
収容率（A/B）	69%	86%	83%	79%

(2) 保管艇内訳（令和4年3月末現在の保管艇内訳）

区分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
保管艇	40艇	86艇	221艇	347艇
割合	12%	25%	63%	100%

3 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 29 年度から）

4 月 1 日から 9 月 30 日までの土日祝については営業時間を午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで延長

(2) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）

利用者へのサービス向上のため実施

(3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(4) ホームページ及びフェイスブック（平成 27 年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

(5) 国際VHF無線の基地局設置（平成 24 年度から）

利用者アンケートからの要望により国際VHF無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 一般開放日（平成 26 年度から）

地域に開かれた施設とするため、毎月第 3 日曜日を一般開放日としている。

(7) 早朝開門の実施

4 月 1 日から 11 月 30 日までの土日祝については正門を午前 5 時に開門し、利用者の利便を図った。

(8) その他

- ・製氷機の設置
- ・海上安全指導



製氷機の設置



海上安全指導

5 マリーナ職員による安全対策

(1) 構内見回り点検（1 回以上／日）

(2) 上下架装置の安全点検（1 回／日）

(3) 荒天時警戒（保管艇）

(4) 栈橋貝落とし作業（1 回／年）

(5) 緑地公園草刈作業（2 回／年）

(6) 強風時増しもやい作業

(7) 施設内洗浄作業



(職員による点検)

6 企画事業

(1) 販売艇展示事業

販売艇(10 艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図った。



(2) レンタルボート事業

4月1日から10月31日までの間、県外在住者向けのレンタルボート事業を実施
 (平成29年度から実施。新型コロナ対策のため、8月1日から9月30日の期間は制限)
 利用実績 61件 (前年度利用実績62件)

長野県	35件
石川県	7件
岐阜県	9件
大阪府	3件
愛知県	2件
北海道	1件
群馬県	1件
千葉県	1件
東京都	1件
新潟県	1件
合計	61件



(3) マリンチック街道の認定

平成31年3月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るといった要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。